

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
皮膚悪性腫瘍に対する新規サイトカイン療法の探索研究	佐藤篤子	皮膚科学	140万円	○補 委 文部科学省化学研究費
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計 1

(注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
統合失調症における認知機能障害改善のための心理社会的治療法の開発と作用機序の解明	岩田和彦	精神医学	1,000,000	○補 委 文部科学省
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計1

(注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
ヒト末梢血中リンパ球を用いたトキシコゲノミクス基盤研究	藤村 昭夫	薬理学講座 臨床薬理学部門	24,050,000	①補 厚生労働省 委
ナノテクノロジーによる機能的・構造的生体代替デバイスの開発	藤村 昭夫	薬理学講座 臨床薬理学部門	3,000,000	①補 厚生労働省 委
透析療法の質の向上をもたらすバイオ人工腎の開発	藤村 昭夫	薬理学講座 臨床薬理学部門	900,000	①補 文部科学省 委
アンジオテンシン変換酵素阻害薬を用いた癌治療の試み	大森 正規	薬理学講座 臨床薬理学部門	3,000,000	①補 文部科学省 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計4

(注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
緑内障と正常眼における網膜及び脈絡膜血管の各種薬理刺激反応性の系統学的研究	国松志保	眼科学	1,000,000	補委 文部科学省
後発白内障予防法の開発	茨木信博	眼科学	2,836,800	補委 日本私立学校振興・共済事業団
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計2

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
根治切除不能な頭頸部がんに対するS-1+CDDPを同時併用する化学放射線療法の第Ⅱ相試験	藤井 博文	臨床腫瘍部	150万円	(補) 厚生労働省 委
画像診断に基づく消化器がん、肺がん、乳がんのClinical Stagingの確立と治療法選択に関する研究	長瀬 通隆	臨床腫瘍部	100万円	(補) 厚生労働省 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

(注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
厚生労働科学研究費補助金創薬基盤推進研究事業「パーキンソン病遺伝子治療臨床研究における安全性評価とpositron emission tomography」	中野今治	神経内科	55,250万円	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「神経変性疾患に関する研究」	中野今治	神経内科	120万円	補 委 厚生労働省
厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療法に関する研究」	中野今治	神経内科	180万円	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」	中野今治	神経内科	70万円	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究」	中野今治	神経内科	70万円	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「スモンに関する調査研究」	中野今治	神経内科	60万円	補 委 厚生労働省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究」	中野今治	神経内科	60万円	補 委 厚生労働省
科学技術振興調整費「科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 生体内分子を可視化するナノセンサ分子開発」	村松慎一	神経内科	259.7万円	補 委 厚生労働省
基盤研究(C)「誘導的発現調節アデノ随伴ウイルスベクターを使用した線条体機能の解析」	村松慎一	神経内科	170万円	補 委 文部科学省
厚生科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「運動失調症に関する研究」	瀧山嘉久	神経内科	450万円	補 委 厚生労働省
基盤研究(C) Spastinの機能解析と治療戦略	瀧山嘉久	神経内科	180万円	補 委 厚生労働省
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計11

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
電顕組織化学による雄性生殖細胞の分化様式の検討	松原 茂樹	産科婦人科学	900,000	補委 文部省科学研究補助金 基盤研究(c)
アデノ随伴ウィルスベクターを用いた卵巣癌腹膜播種を標的とした分子標的・遺伝子治療	大和田倫孝	産科婦人科学	800,000	補委 文部省科学研究補助金 基盤研究(c)
血清PlGFを含む早発型妊娠高血圧腎症発症に関与するリスク因子の前向き研究	大口 昭英	産科婦人科学	1,800,000	補委 文部省科学研究補助金 基盤研究(c)
子宮内膜症の発生機序の解明と分子標的治療の開発	藤原 寛行	産科婦人科学	1,600,000	補委 文部省科学研究補助金 基盤研究(c)
難治性婦人科腫瘍に対する遺伝子治療の基礎的研究	竹井 裕二	産科婦人科学	1,300,000	補委 文部省科学研究補助金 若手研究(B)
リン酸化を介した哺乳動物精子capacitationの調節メカニズムの解明	鈴木達也	産科婦人科学	900,000	補委 文部省科学研究補助金 若手研究(B)
sFit-1発現アデノウィルスベクターによる妊娠高血圧腎症マウスへのPlGF投与効果の検討	鈴木寛正	産科婦人科学	1,500,000	補委 文部省科学研究補助金 若手研究(B)
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計7

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
アデノ随伴ウイルスベクターの開発とそのがん治療への応用	小澤敬也	血液学部門	13,400千円	補 文部科学省科学研究費補助金 委
難治性疾患克服研究事業：特発性造血障害に関する調査研究	小澤敬也	血液学部門	65,000千円	補 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金 委
ヒトゲノム・再生医療等研究事業：アデノ随伴ウイルス (AAV) を利用した遺伝子治療法の開発研究	小澤敬也	血液学部門	49,725千円	補 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金 委
ヒトゲノム・再生医療等研究事業：間葉系幹細胞を利用した造血幹細胞移植技術の高度化・安全性向上に関する研究	小澤敬也	血液学部門	20,597千円	補 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金 委
ヒトゲノム・再生医療等研究事業：パーキンソン病遺伝子治療臨床研究における安全性評価とpositron emission tomography (PET) による有効性の評価(代表：中野今治)、分担：前臨床研究のためのAAVベクターの作製	小澤敬也	血液学部門	5,000千円	補 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金 委
エイズ対策研究事業：血友病の治療とその合併症の克服に関する研究(代表：坂田洋一)、分担：AAVベクターによる血友病遺伝子治療の基礎実験	小澤敬也	血液学部門	12,000千円	補 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金 委
遺伝性筋疾患に対する分子治療の基盤研究(代表：武田伸一)：分担：新規血清型由来のAAVベクターを用いた骨格筋への遺伝子導入法ならびにその作製法・精製法に関する検討	小澤敬也	血液学部門	2,500千円	補 厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費 委
保健医療分野における基礎研究推進事業：パーキンソン遺伝子を用いた家族性・孤発性パーキンソン病に対する遺伝子治療(代表：水野義邦)：分担：AAVベクターを用いた神経系遺伝子治療に関する調査研究と臨床研究実施計画書の作成	小澤敬也	血液学部門	4,000千円	補 独立行政法人 医薬基盤研究所独立行政法人 委
若手B：GVHD, GVLにおけるIL-21の役割	尾崎勝俊	血液学部門	1,900千円	補 文部科学省科学研究費補助金 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計9

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
虚血てんかん性神経細胞死におけるCa ²⁺ 代謝異常の細胞生理学的研究	小黒恵司	脳神経外科	1,300,000	補委 文部科学省
光トポによる失語症回復過程を支える脳内機序の解明	渡辺英寿	脳神経外科	5,600,000	補委 文部科学省
てんかんに対する内科・外科的治療に関する総合的研究	渡辺英寿	脳神経外科	700,000	補委 厚生労働省
パーキンソン病遺伝子治療臨床研究における安全性評価とpositron emission tomography (PET)による有効性の評価	加藤正哉	脳神経外科	5,000,000	補委 厚生労働省
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計4

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を入力すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を入力すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
Japan Morning Surge-Total Organ Protection: JMS-TOP 研究 治療中 早朝高血圧患者に対するアンジオテ ンシン受容体拮抗薬を用いた早朝血	苅尾 七臣	循環器内科	15万円	補 日本動脈硬化予防研究基 委 金
24時間血圧を用いた高血圧臨床研究	苅尾 七臣	循環器内科	50万円	補 ニュー・ハイパーテン 委 ション・クラブ研究助成
高齢者高血圧コホート研究Sub Study「AI測定の追加調査」	苅尾 七臣	循環器内科	80万円	補 財団法人パブリックヘル 委 スリサーチセンター
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計 3

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
膵癌に対する抗瘍薬感受性診断用チップの作成	佐田尚宏	消化器外科	1,000,000	補 委 文部省科学研究費補助金
hMLH1メチル化陽性大腸癌高危険群早期拾い上げ診断マーカーの開発に向けて	宮倉安幸	消化器外科	700,000	補 委 文部省科学研究費補助金
肝内結石症調査に関する調査研究班跡見裕班	永井秀雄	消化器外科	500,000	補 委 厚生労働省 特定疾患対策研究事業
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発に関する調査研究班	永井秀雄	消化器外科	2,000,000	補 委 厚生労働省 第3次対がん総合戦略研究事業
切除不能膵がんに対する治療法の確立に関する研究	永井秀雄	消化器外科	500,000	補 委 厚生労働省 がん臨床研究事業
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計5

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
日呼吸会誌 44(4):319-324	肺動静脈原発の線維肉腫の1例	大門皇寿	内科学講座 呼吸器内科学部 門
気管支学28(4):278-283	血液疾患に合併した胸部異常陰影に対する気管支鏡検査の有用性	中山雅之	内科学講座 呼吸器内科学部 門
日呼吸会誌 44(12):993-996	HLA-B54陽性の関節リウマチ・珪肺症に肺癌を合併した1例	石井義和	内科学講座 呼吸器内科学部 門
日呼吸会誌 45(1):8-12	慢性腎不全に合併した肺癌症例の検討	辻田章博	内科学講座 呼吸器内科学部 門
日呼吸会誌 45(3):272-276	早老症に合併したと考えられる若年者肺癌の1例	川上 正敬	内科学講座 呼吸器内科学部 門

計5

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arthritis Rheum 54(2): 675-678	Association of IgG Anti-NR2 glutamate receptor antibodies in cerebrospinal fluid with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus	吉尾 卓	アレルギー・膠原病学部門
Ann Rheum Dis 65(2): 253-256	Raised monocyte chemotactic protein 1 (MCP-1)/CCL2 in cerebrospinal fluid of patients with neuropsychiatric lupus	吉尾 卓	アレルギー・膠原病学部門
Rheumatol 45(2): 232-234	IP-10/MCP-1 ratio in CSF is an useful diagnostic maker of neuropsychiatric lupus patients	吉尾 卓	アレルギー・膠原病学部門
Arthritis Rheum 54(2): 579-586	Apoptosis of rheumatoid synovial cells by statins through the blocking of protein geranylgeranylation: a potential therapeutic approach to rheumatoid arthritis	長嶋 孝夫	アレルギー・膠原病学部門
Int Immunol 18(4): 573-580	Anti-HSP auto-antibodies enhance HSP-induced pro-inflammatory cytokine production in human monocytic cells via Toll-like receptors	簗田 清次	アレルギー・膠原病学部門
Ann Rheum Dis 65(9): 1257-1259	Soluble fractalkine in the cerebrospinal fluid of patients with neuropsychiatric lupus	吉尾 卓	アレルギー・膠原病学部門
Arthritis Rheum 54(5): 1629-1637	Mouse monoclonal anti-human thrombomodulin antibodies bind to and activate endothelial cells through NF- κ B activation in vitro	奈良 浩之	アレルギー・膠原病学部門
Clin Immunol 120: 247-259	CD52 is a novel costimulatory molecule for induction of CD4 regulatory T cells	青木 葉子	アレルギー・膠原病学部門
Mod Rheumatol 16:330-331	Semiquantitative assessment of the intestinal motility in chronic intestinal pseudo-obstruction in systemic sclerosis and mixed connective tissue disease by Sitzmarks capsule	長嶋 孝夫	アレルギー・膠原病学部門
J Clin Rheumatol 12(5): 259-260	Limited Wegener's granulomatosis manifested by abducens nerve palsy resulting from pachymeningitis	上村 健	アレルギー・膠原病学部門
J Invest Allergol Clin Immunol 16(6):388-390	Repeated massive tongue swelling due to the combined use of estramustine phosphate and angiotensin-converting enzyme inhibitor	釜田 康行	アレルギー・膠原病学部門
日本腎臓学会誌 48(4): 345-353	高齢発症ループス腎炎の臨床学的検討	簗田 清次	アレルギー・膠原病学部門
臨床リウマチ 18(4):332-336	メトトレキサートが腎機能悪化を7年間抑制したと考えられる関節リウマチ誘発腎アミロイドーシス	岩本雅弘	アレルギー・膠原病学部門
臨床神経学 46(10):687-691	筋ジストロフィー患者では高率に抗 β 1アドレナリン受容体抗体が存在する	吉尾 卓	アレルギー・膠原病学部門

計 14

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
実力医の履歴書:481-481	肺癌. 外科系 I.	蘇原泰則	呼吸器外科
呼吸器NEW & VIEWS 27:17-22	肺癌治療法の多彩な選択肢.	蘇原泰則	呼吸器外科
Ann Thorac Surg 81(5):1946-1946	Preoperative use of steroids in patients with myasthenia gravis.	遠藤俊輔	呼吸器外科
Surgery Today 36(6):574-576	Plastron-trapdoor technique for direct-vision sternal re-entry.	遠藤俊輔	呼吸器外科
Surgery Today 36(6):499-503	Predictors of postoperative complications after radical resection for pulmonary aspergillosis.	遠藤俊輔	呼吸器外科
Int Cardio-Thorac Surg 5: 109-110	Contralateral pulmonary edema following surgical repair of a ruptured hemidiaphragm.	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科 59(12):1061-1061	まい・てくにつく ; 低侵襲開胸法としての腋窩前方開胸.	遠藤俊輔	呼吸器外科
ばんぼう Clinic Bamboo 301(7):61	プライマリーケアへの道「呼吸器科」慢性の湿性咳嗽・発熱, 右胸痛の持続.	遠藤俊輔	呼吸器外科
ばんぼう Clinic Bamboo 301(8):61	プライマリーケアへの道「呼吸器科」突然の咯血.	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科60(3):181-182	討論2. 自然気胸の外科手術.	遠藤俊輔	呼吸器外科
別冊・医学のあゆみ ; 呼吸器疾患 ver. 5-state of arts373-375	胸膜の疾患 ; 気胸	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科60(1):45-48	悪性胸膜中皮腫に対する広範囲胸壁・横隔膜・心嚢合併切除を伴う胸膜肺摘除術.	佐藤幸夫	呼吸器外科
Nursing Mook見てわかるドレーン&チューブ管理:35-38	2呼吸器 ; 肺がん術後ドレナージ.	手塚康裕	呼吸器外科
Nursing Mook見てわかるドレーン&チューブ管理:39-41	2呼吸器 ; 胸腔ドレナージ: 気胸, 胸水.	手塚康裕	呼吸器外科
Nursing Mook見てわかるドレーン&チューブ管理:42-45	2呼吸器 ; 気管内チューブ.	手塚康裕	呼吸器外科
Nursing Mook見てわかるドレーン&チューブ管理:46-49	2呼吸器 ; 気管切開チューブ.	手塚康裕	呼吸器外科

計16

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Asian Cardiovasc Thorac Ann 14(5):e86-e87	Thoracoscopic findings of a small posterior mediastinal parathyroid adenoma.	田口昌延	呼吸器外科
気管支学28(4):300-305	Mycobacterium szulgai感染後に合併した肺アスペルギルス症の1例.	宮崎邦夫	呼吸器外科

計2

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当って内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Thorac Surg 82(1):381-382	Deep sternal wound infection after cardiac surgery.	三澤吉雄	心臓血管外科
Ann Thorac Surg 82(1):381-381	Cardiac papillary fibroelastoma.	三澤吉雄	心臓血管外科
心臓38(5):472-472	鈴木論文に対するEditorial comment.	三澤吉雄	心臓血管外科
胸部外科60(2):95-96	討論2. 大動脈弁狭窄に対する弁置換術後の心機能.	三澤吉雄	心臓血管外科
J Cardiothorac Surg 2:8	Clinical experience with the bicarbon heart valve prosthesis.	三澤吉雄	心臓血管外科
新臨床外科学 2006, 923-935.	10. 心臓・大血管；先天奇形（中隔欠損を主とする）.	河田政明	心臓血管外科
小児心臓外科の要点と盲点2006, 194-201	[9]単心室1. 外科解剖と手術適応，手術成績と遠隔成績.	河田政明	心臓血管外科
臨床麻酔 30(12):1819-1827	心臓の発生と先天性心疾患：臨床麻酔との関連.	河田政明	心臓血管外科
日小循誌23(1):39-40	センターでの左心底形成疾患群に対する治療方針について；左心底形成症候群に対する新たなアプローチ：両側肺動脈絞扼術とhybrid治療.	河田政明	心臓血管外科
自治医大医学部紀要 29:229-232	止血用クリップを用いた腋窩動脈送血用側枝人工血管の閉鎖手技.	齊藤力	心臓血管外科
胸部外科59(5):407-409	大動脈狭窄パッチ血管形成術後に発症した仮性動脈瘤の1例.	上西祐一朗	心臓血管外科
胸部外科59(4):319-323	大動脈弁置換術後のpatient-prosthesis mismatch -有効弁口面積指数の許容下限-.	上西祐一朗	心臓血管外科
自治医大医学部紀要 29:49-53	シベスタットナトリウム水和物による胸部大動脈緊急手術後集中治療期間の短縮効果.	上西祐一朗	心臓血管外科
Nursing Mook見てわかるドレーン&チューブ管理：49-51	3循環器；心嚢ドレナージ.	上西祐一朗	心臓血管外科
Nursing Mook見てわかるドレーン&チューブ管理：52-53	3循環器；縦隔ドレナージ.	上西祐一朗	心臓血管外科
Nursing Mook見てわかるドレーン&チューブ管理：54-56	3循環器；術後（開心術，胸部大動脈手術）ドレナージ. 上西祐一朗	上西祐一朗	心臓血管外科

計16

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、一つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。